

FSチーム2期生の活動報告および 意見交換会

～「食」にまつわる課題や取り組みの「つながり」は、
解決のカギになる？～

フードシステム変革推進(FS)チーム2期生



目次

1. FSチームが目指していること

2. 2期生の活動

3. マッピングの概要

4. マッピングの解釈

5. マッピングから導いた提言

FSチーム2期生の Vision / Mission / Value

めざす世界 Vision	誰もが、お腹を満たし健康な食事をする事で、「食べる幸せ」を感じることが出来る世界を創る
使命 Mission	世界の食料問題をジブンゴトとして捉える仲間を増やし、市民一人ひとりが参加できる方法・きっかけを示す
価値観 Value	<p>① 主体的な学び・積極性 主体的な学びへの姿勢を重視し、多様な団体に積極的にアプローチする</p> <p>② つないでいく、ハブになる 食に関わる課題や人の繋がりに注目し、関係者の協力を得る</p> <p>③ チームワーク 各チームメンバーの視点・強みを生かし、相互に学び合い、補完する</p> <p>④ 創造性・発見 団体間のつながり構築や課題のマッピングを通して、新しい価値や視点を発見・創造していく</p>

FSチーム*が目指していること

*フードシステム変革推進チーム

食料問題に対する人々の興味・関心（課題意識）をあつめ
因果関係をベースに整理することで：

1. 市民一人一人が主体的に考える機会を創出
2. 食料問題のレバレッジポイント*を発見
*そこに働きかけを行うことで多くの事象が解決するような、優先的にテコ入れすべき点
3. 企業・団体同士のコラボレーションの可能性を発見
→食料問題解決のうえでの方向性を提言できることを目指す

……今後、企業・団体の取り組みが増えることで、市民が食料問題改善に取り組める機会が増える

1

2

3



市民の課題意識
の探索

有効性の高い
アクションの
確立・提案

企業・団体の
アクション増加

市民一人ひとり
の主体的な
行動

日本のフード
システムの改善

FSチームの変遷と展望

1期生：調査の年（2022-2023）

- 日本のフードシステムが飢餓へ及ぼす影響の調査、「つながり」の整理
- 食料問題の直線的な解釈に限界

現在地 ▶

2期生：模索の年（2023-2024）

- 食料問題と多様な課題のつながりを可視化し重要課題を洗い出す
- 多様な課題や取り組みをつなげることで、課題解決の糸口を掴む

3期生：拡大・定型化の年（想定）（2024-2025）

- 企業、団体インタビューの回数増加（全国的に展開？）
- イベント（学生交流会など）の規模拡大？
- 食育に繋がる教材の発信？

▼ 1期生

日本のフードシステムが
飢餓へ及ぼす影響の調査

有効性の高い
アクションの
確立・紹介

▼ 2期生

市民の課題意識
の探索

▼ 3期生～

有効性の高い
アクションの
確立・提案

企業・団体の
アクション増加

市民一人ひとり
の主体的な行動

日本のフード
システムの改善

FSチーム2期生の活動

市民の課題意識
の探索

有効性の高い
アクションの
確立・提案

企業・団体の
アクション増加

市民一人ひとり
の主体的な行動

日本のフードシ
ステムの改善

活動 (Action)

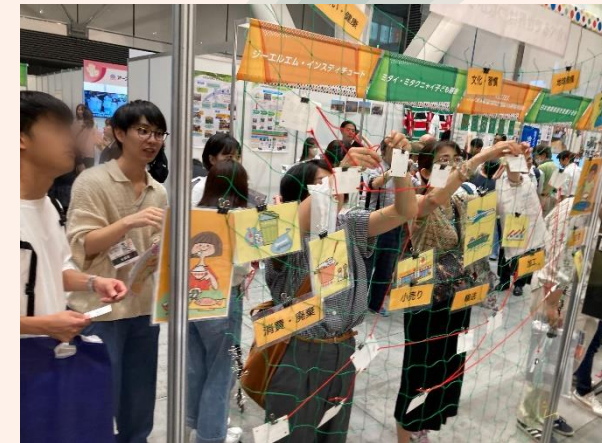
インタビューやワークショップ(マッピング*)を通して市民参加型を目指したとりくみの数々：

- ・ 企業、団体インタビュー
- ・ やまゆり生協さんへの出展
- ・ グローバルフェスタへの出展
- ・ 学生交流会の開催
- ・ マッピングしたデータの収集,分析

* 次スライド以降説明



学生交流会の様子



グローバルフェスタの
出展ブース

採用した手段：マッピング

笈裕介著

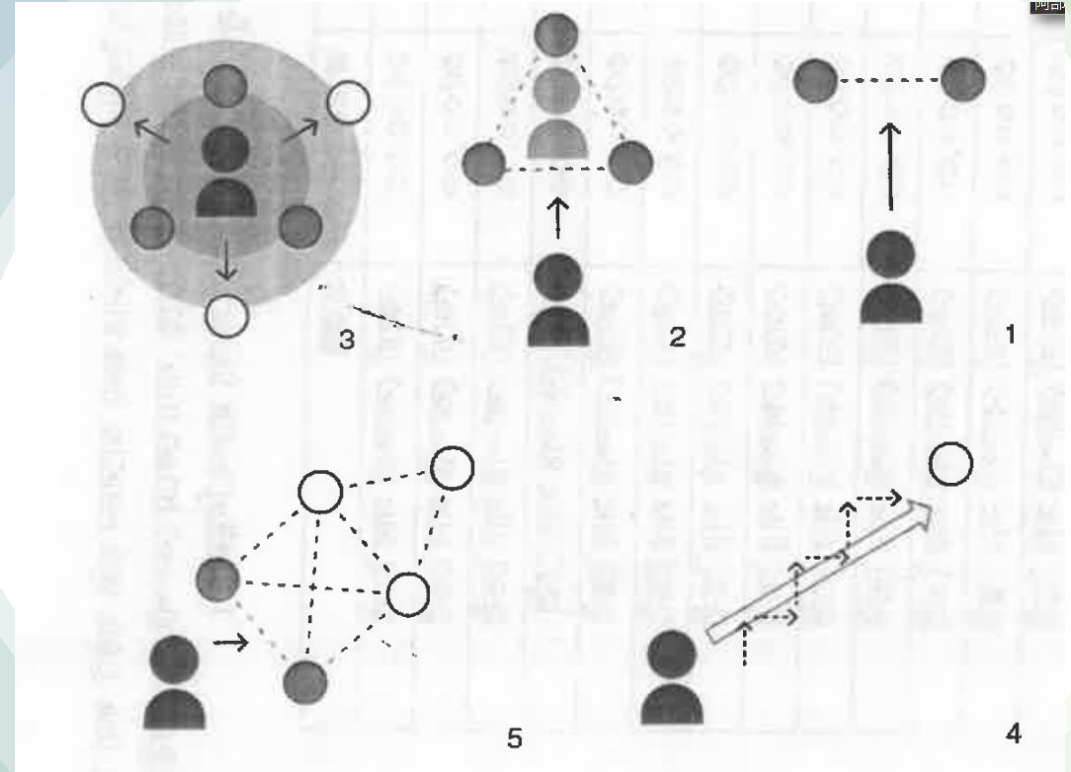
『持続可能な地域のつくり方』

様々な事象同士の複雑なつながりを
ひも解き、その相互作用、環境変化、
変化を引き起こす構造を理解するために
大きな地図を描く技術



マッピングに期待する効果

1. 離れたもの同士の間をイメージできる
2. 他者と自分を共に考えられる
3. 新しいことに気づける、出会える
4. 未来への道筋を思い描ける
5. 変化の構造と原因を捉えられる



寛裕介『持続可能な地域の作り方』2019 p171

マッピングの工程

• 地図の対象と課題を決める

• 課題に関連する事象を記す

• 事象をグループ化する

• 配置し、因果関係でつなぐ

• SDGsの視点で見直す

• 正のループ・負のループを探す

• 再配置する

• レバレッジポイントを探す

• 地図の課題と対象を決める

• 課題に関する事象を記す

• 事象をグループ化する

• 配置し、因果関係でつなぐ

• SDGsの視点で見直す

• 正のループ・負のループを探す

• 再配置する

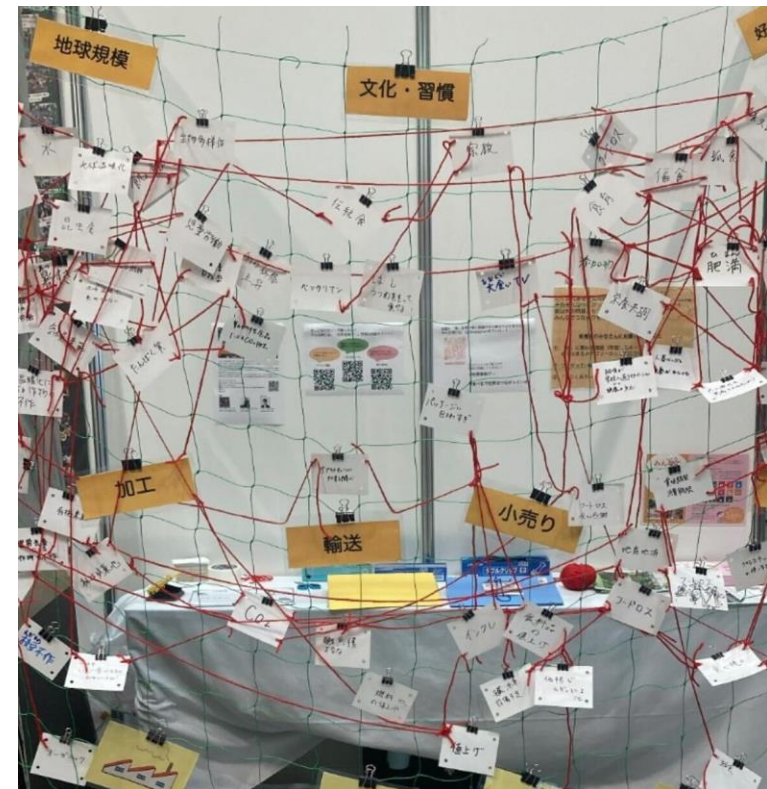
• レバレッジポイントを探す

• 地図の課題と対象を決める

→ 「食料問題」の課題 ととりくみ

• 課題に関する事象を記す

→ インタビューやワークショップを通して
人々の食料問題に対する興味・関心
(課題意識) を収集



• 地図の課題と対象を決める

• 課題に関する事象を記す

• 事象をグループ化する

• 配置し、因果関係でつなぐ

• SDGsの視点で見直す

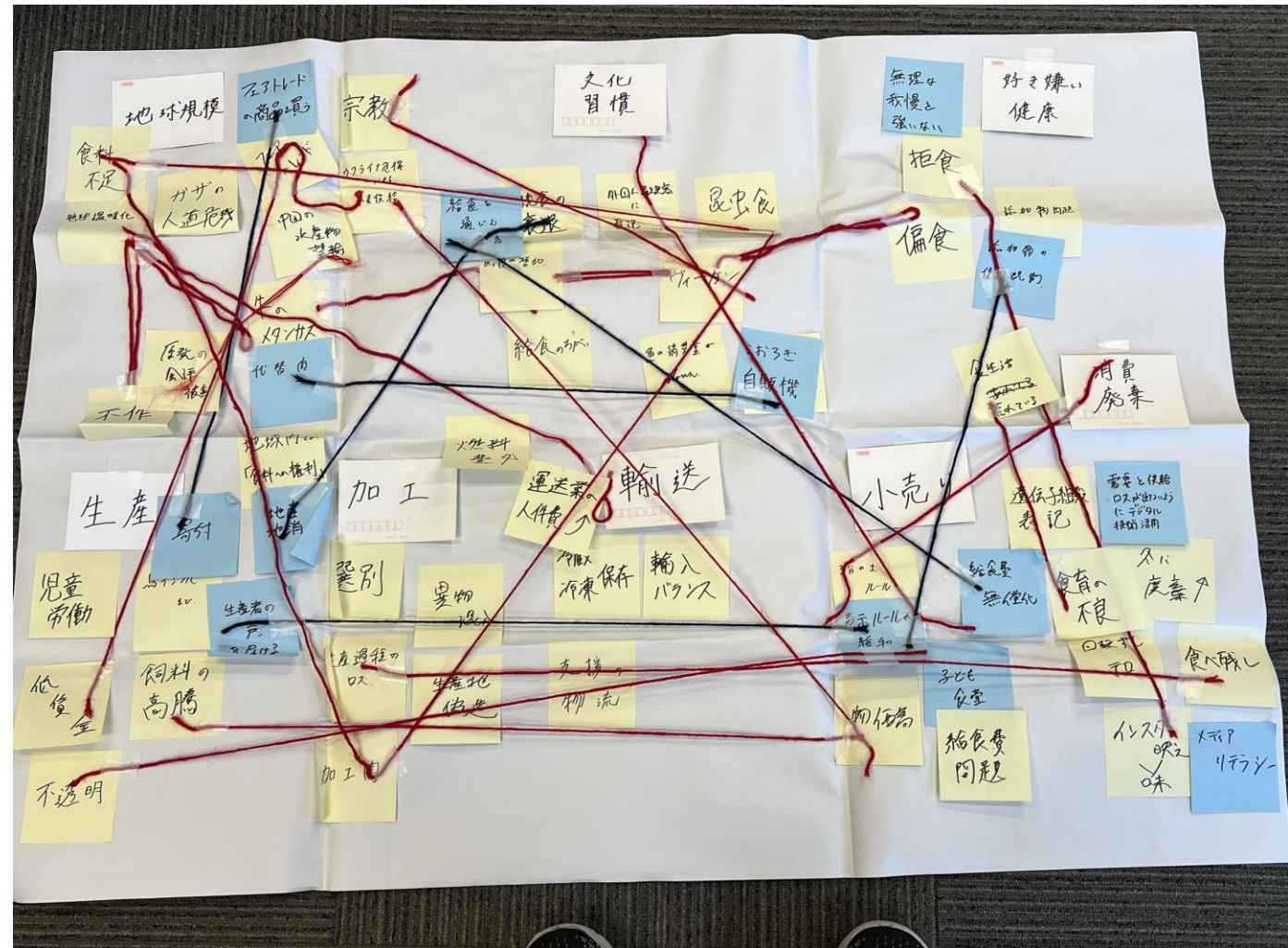
• 正のループ・負のループを探す

• 再配置する

• レバレッジポイントを探す

• 事象をグループ化する

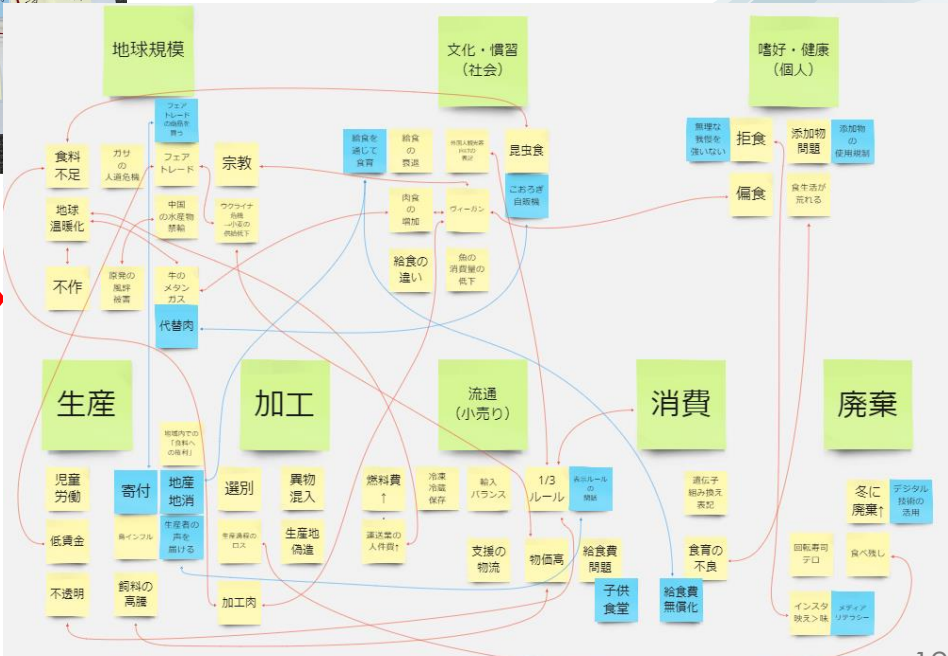
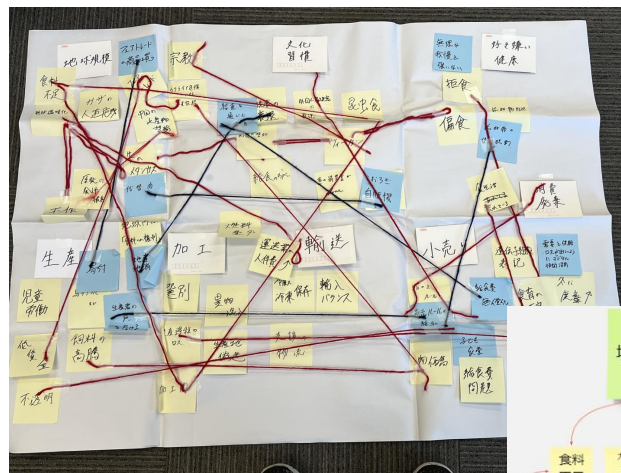
→ 上の段：地球規模, 文化習慣, 好き嫌い
下の段：食のサプライチェーン



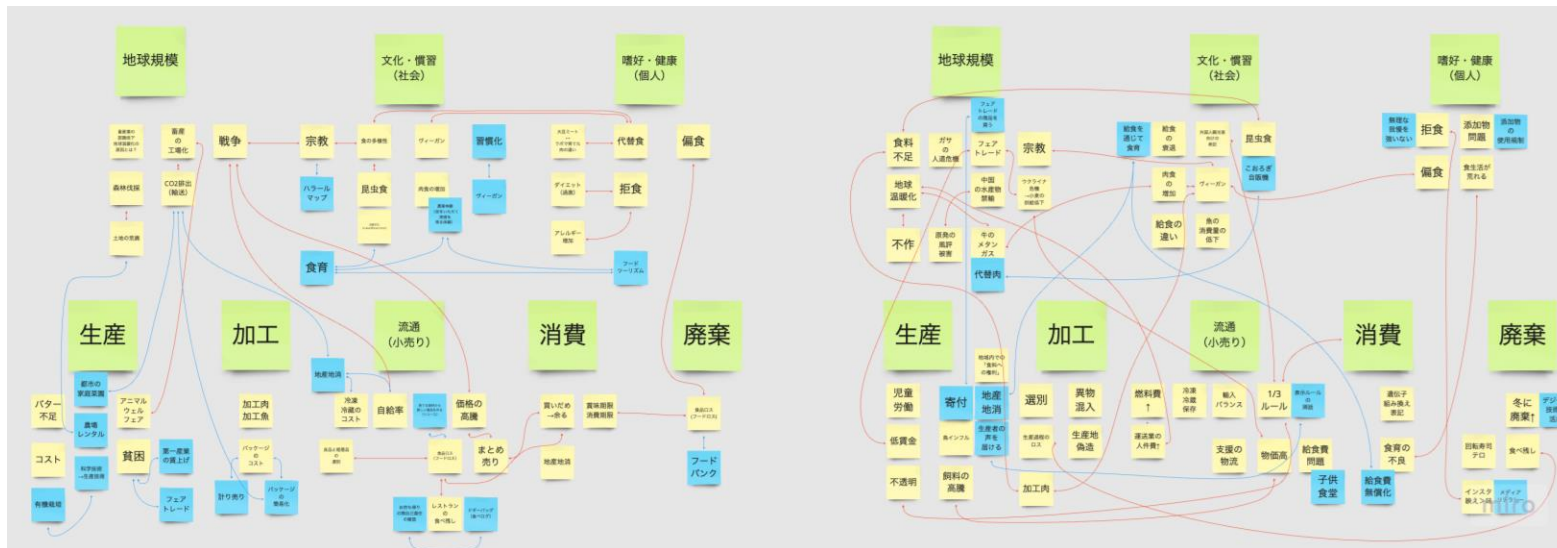
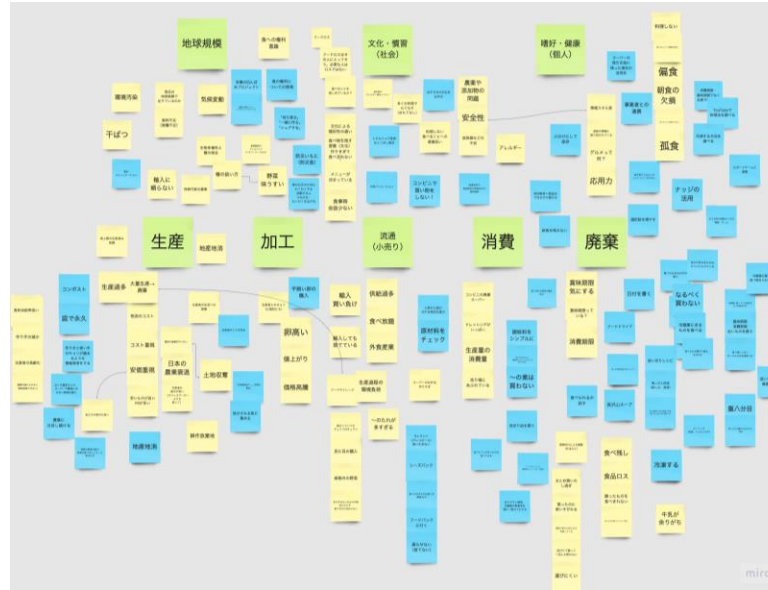
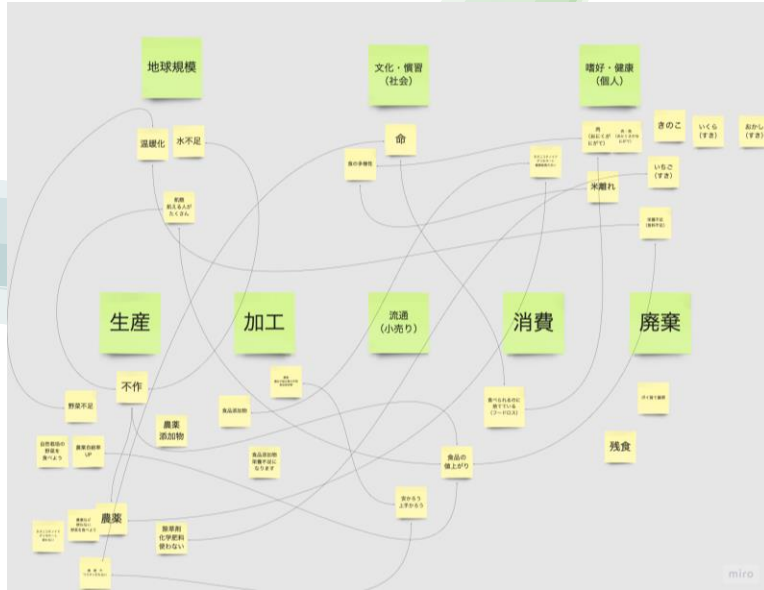
- 地図の課題と対象を決める
- 課題に関する事象を記す
- 事象をグループ化する
- 配置し、因果関係でつなぐ
- SDGsの視点で見直す
- 正のループ・負のループを探す
- 再配置する
- レバレッジポイントを探す

• 配置し、因果関係でつなぐ

→紙で行ったワークショップを
オンライン上 (miro) に整理して
関連するキーワードを結びつける



収集したマップ



- 対象者
イベント参加者
- ・ 食料問題に興味がある一般の方
 - ・ 生産の現場に携わる方
 - ・ 学生
 - ・ 親子連れ etc...

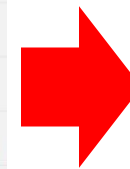
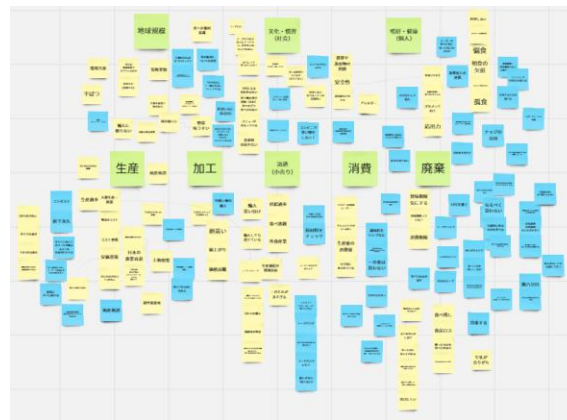
- 地図の課題と対象を決める
- 課題に関する事象を記す
- 事象をグループ化する
- 配置し、因果関係でつなぐ
- SDGs頻出ワードの視点で見直す
- 正のループ・負のループを探す
- 再配置する
- レバレッジポイントを探す

頻出ワードの視点で見直す

→SDGsの代わりに「頻出ワード」をピックアップして、関連するキーワードのみで整理し直す

頻出ワードの例：

フードロス、地球温暖化など



• 地図の課題と対象を決める

• 課題に関する事象を記す

• 事象をグループ化する

• 配置し、因果関係でつなぐ

• 頻出ワードの視点で見直す

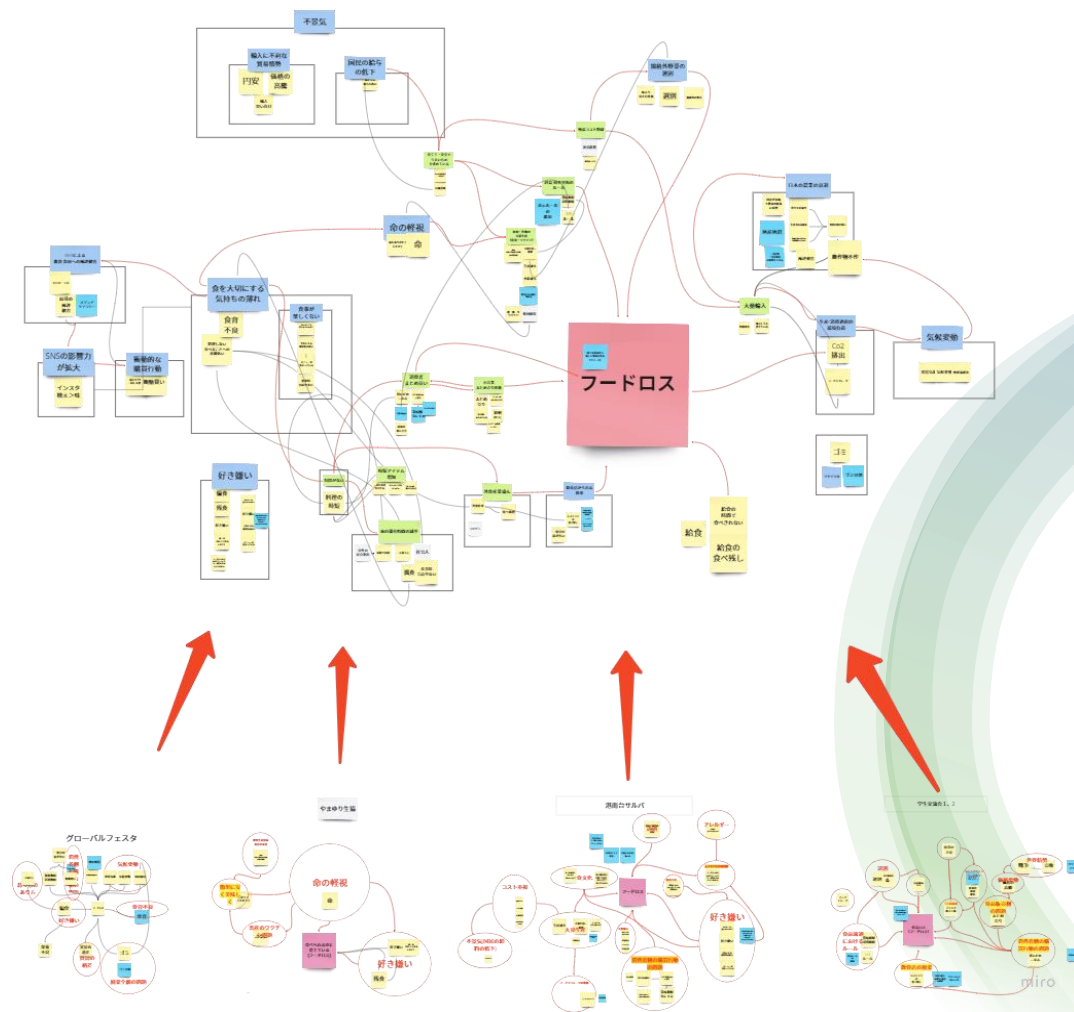
• 正のループ・負のループを探す

• 再配置する

• レバレッジポイントを探す

• 見直したマップの統合

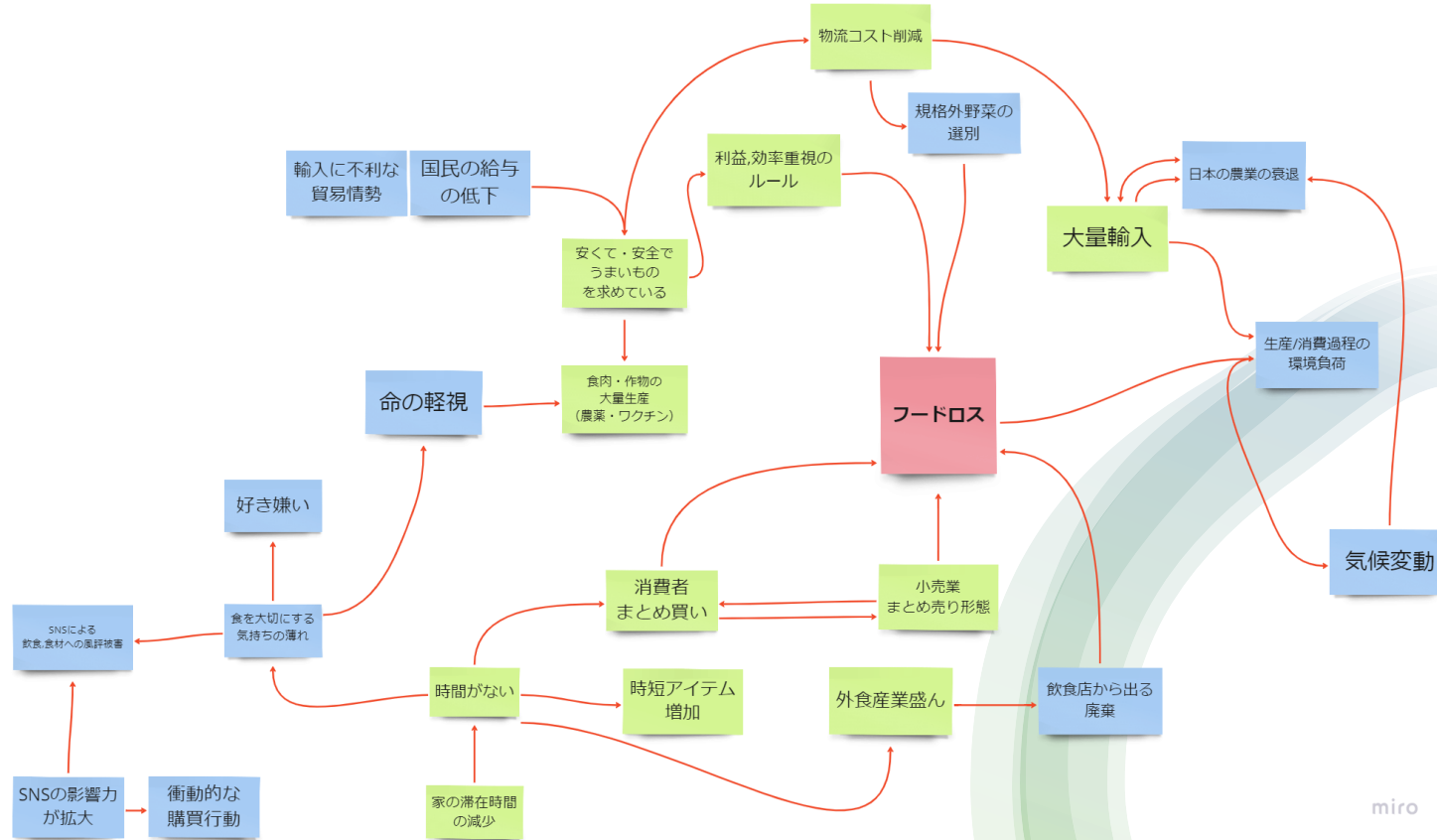
→抽出されたキーワードを「フードロス」を中心にグループ化し一つの大きなマップへ統合する



- 地図の課題と対象を決める
- 課題に関する事象を記す
- 事象をグループ化する
- 配置し、因果関係でつなぐ
- 頻出ワードの視点で見直す
- 正のループ・負のループを探す
- 再配置する
- レバレッジポイントを探す

• 正のループ・負のループを探す • 再配置する

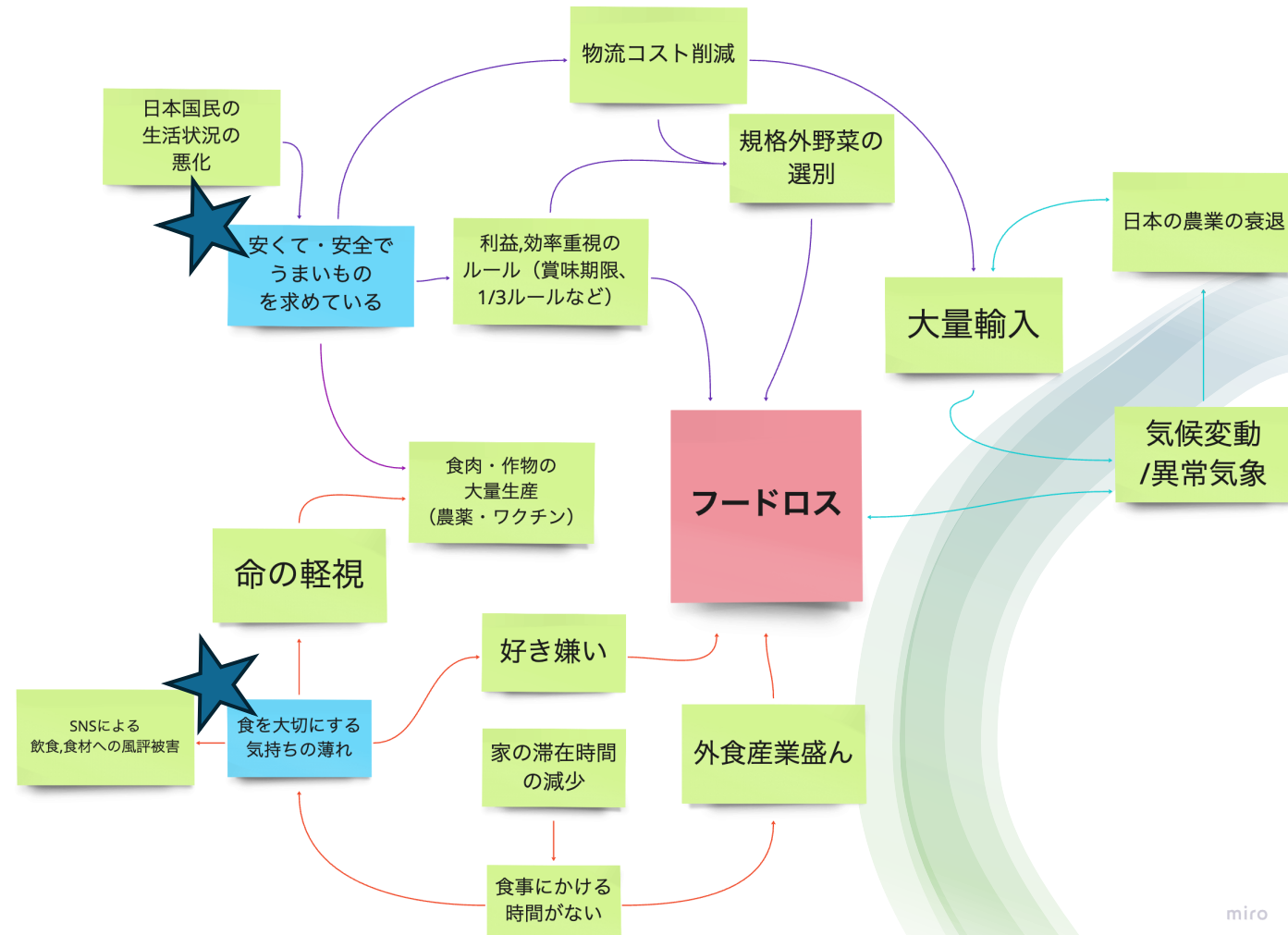
→ループを探し、キーワードを配置し直す



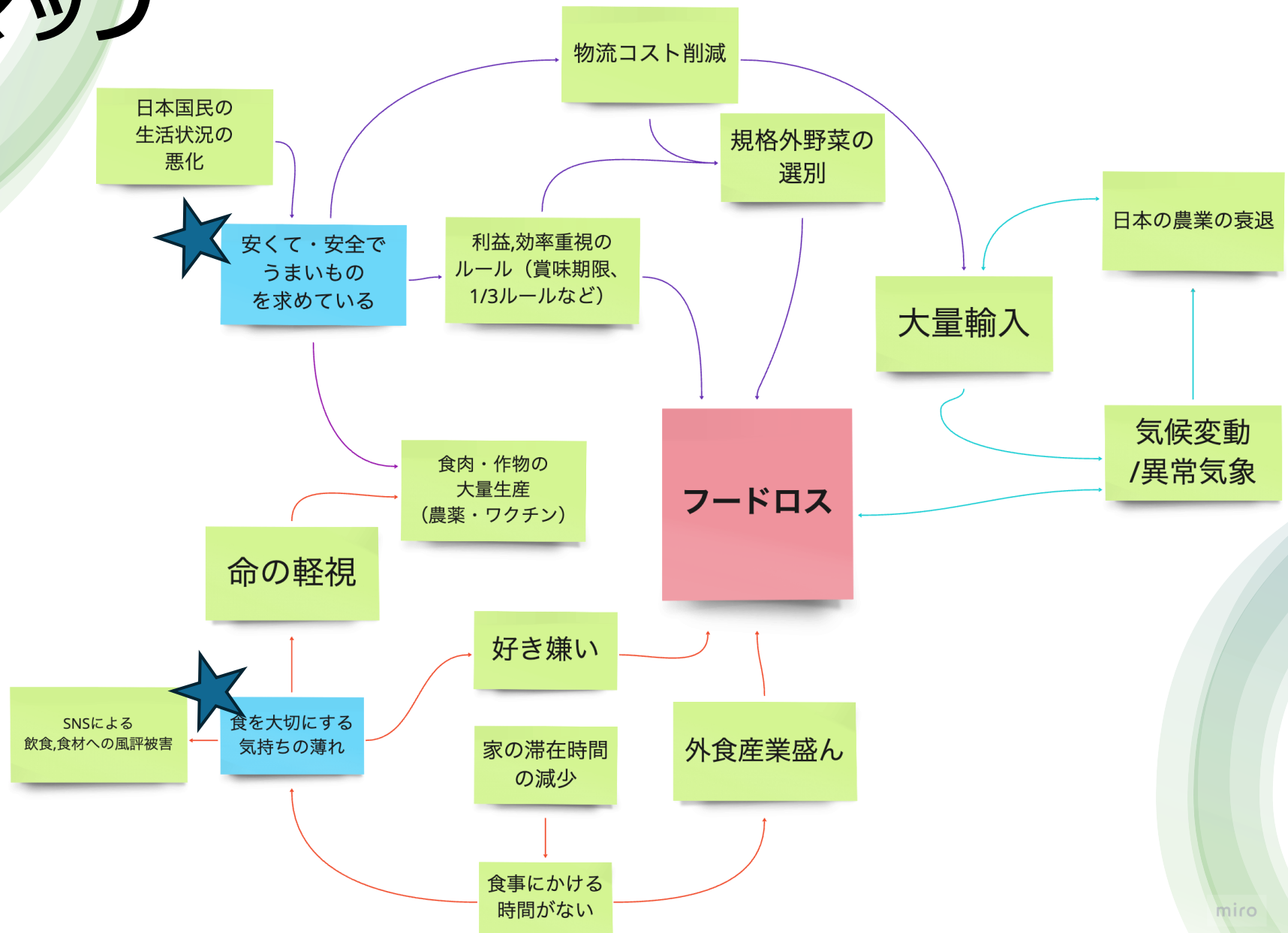
- 地図の課題と対象を決める
- 課題に関する事象を記す
- 事象をグループ化する
- 配置し、因果関係でつなぐ
- 頻出ワードの視点で見直す
- 正のループ・負のループを探す
- 再配置する
- レバレッジポイントを探す

レバレッジポイントを探す

→浮かび上がるレバレッジポイント★をみつけ、施策を提案



最終的なマップ



私たちのマッピングの解釈

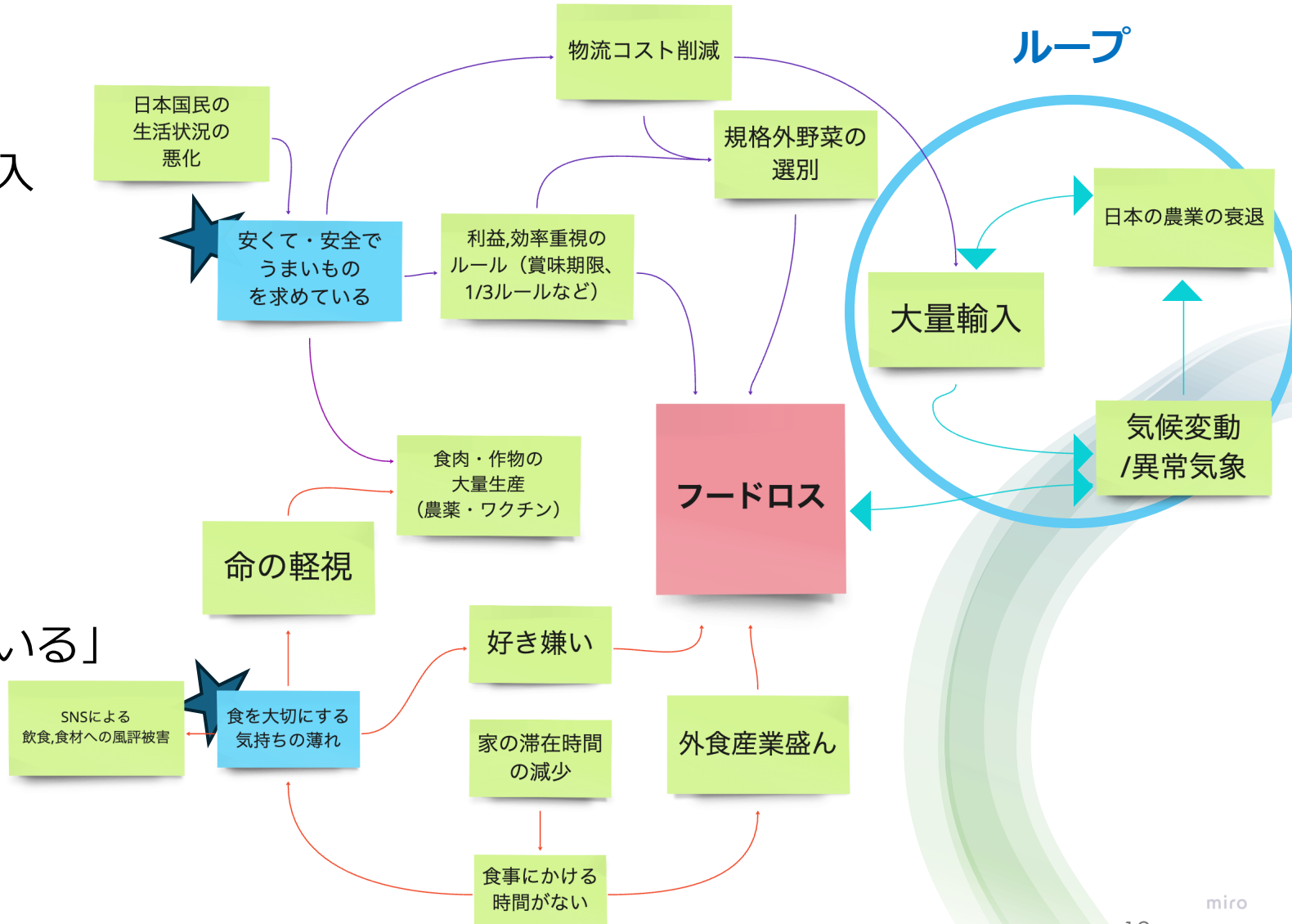
ループ

見つけられたループ°（水色の矢印）：
気候変動→日本の農業の衰退→大量輸入

見つけられたながれ：

- ①「日本国民の生活状況の悪化」から始まる紫の矢印
- ②「家の滞在時間の減少」から始まる赤の矢印

★レバレッジポイント：
「安くて・安全でうまいものを求めている」
「食を大切にする気持ちの薄れ」

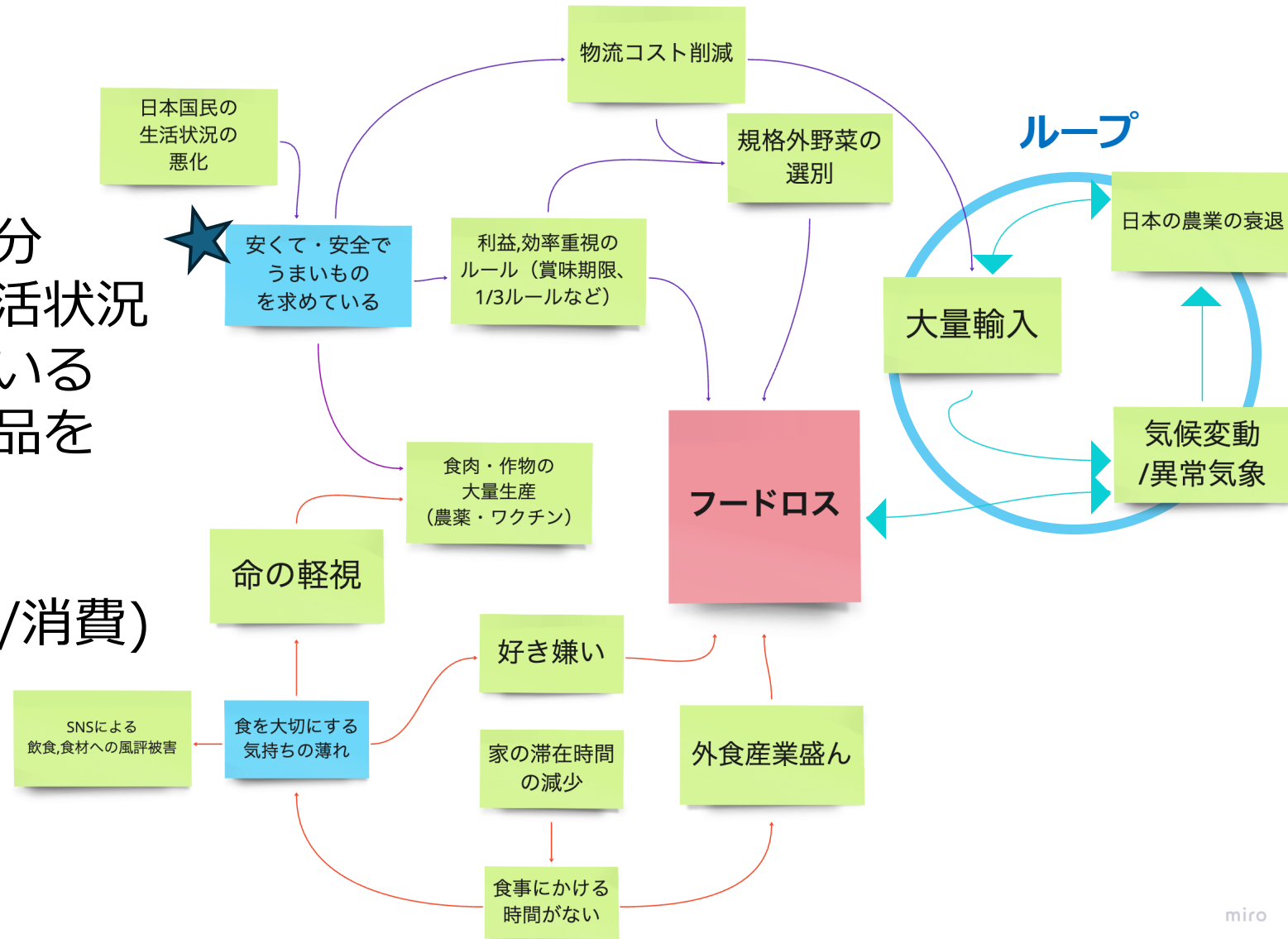


私たちのマッピングの解釈

★レバレッジポイント①

ここ十年、増税・物価高・可処分所得の減少などの日本国民の生活状況の悪化によって拍車がかかっている消費者の「安全で安くて美味しい品を求める」風潮。

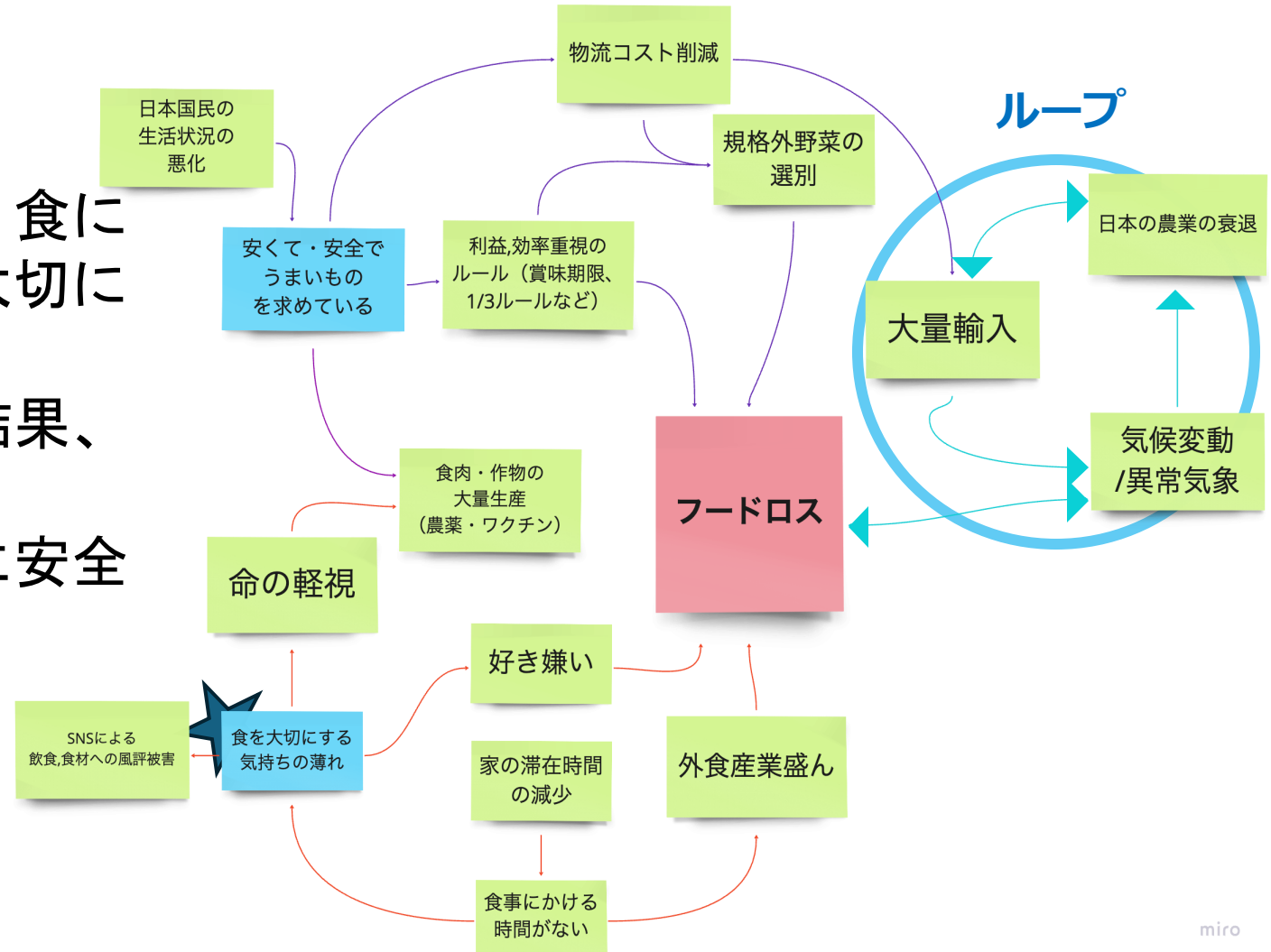
これが、効率重視の商習慣(1/3ルール, 賞味期限, 大量輸送/消費)を生み出し仕方なく廃棄される食料が増えている。



私たちのマッピングの解釈

★レバレッジポイント②

食事にかかる時間の減少によって、食について考える時間も減少し、食を大切に
する気持ちが薄まってゆく。
また、効率を重視するようになる結果、
家畜・作物の大量生産につながり、
農薬・ワクチンの利用などを発端に安全
性の低下にも関係している。



マッピングから導いた提言

レバレッジポイント：

「安くて・安全でうまいものを求めている」

「食を大切にする気持ちの薄れ」

提言：

フードロスとは多様な課題の終着点
= それより前の段階へのアプローチが必要

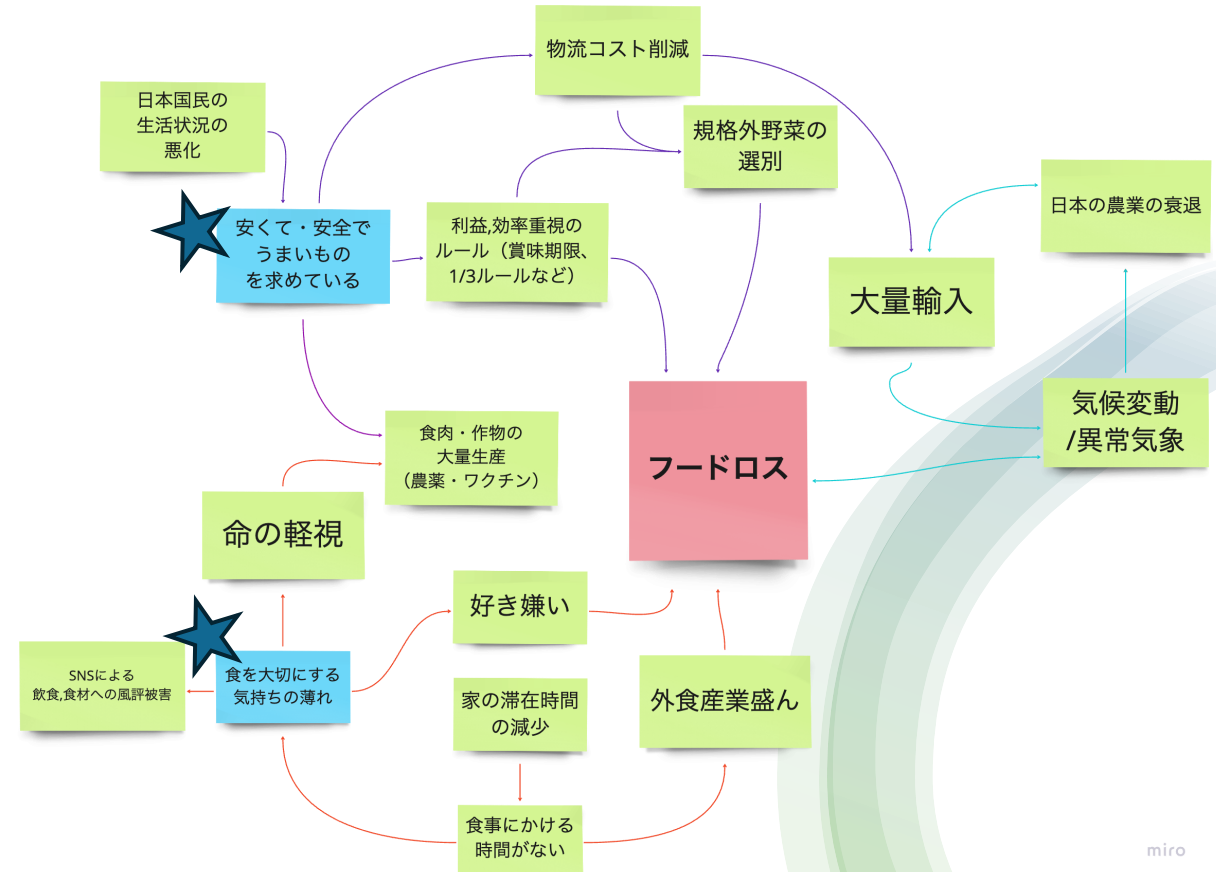
1. 食を大切にできる時間の増加

Ex). 学校給食の時間や量を改善する
仕事と食のバランスを見直す
家族と一緒に料理を作る

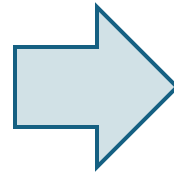
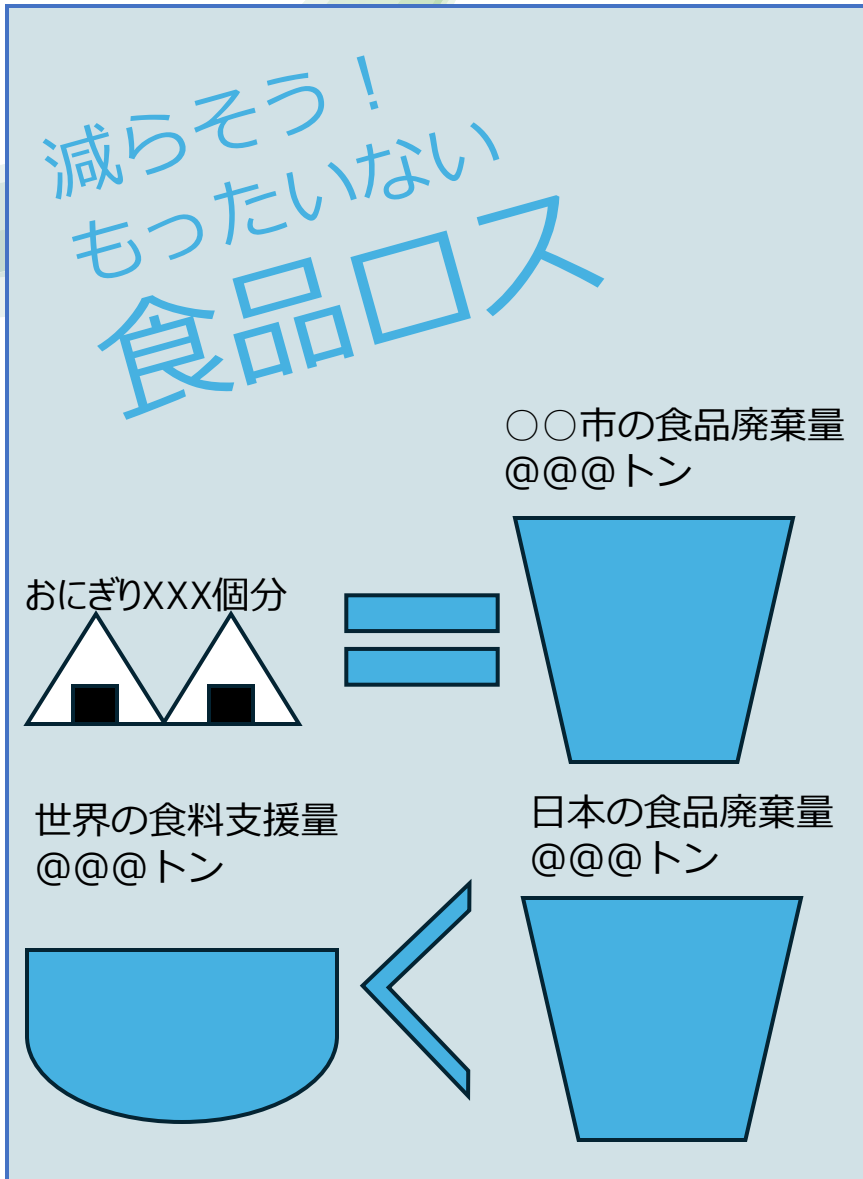
2. 食料廃棄に関する啓発の方向性を変える

既存：「フードロスをなくそう」

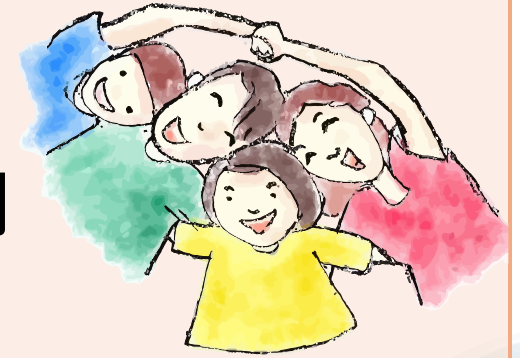
提案：「命を大切に」「食を楽しもう」



マッピングから導いた提言



ゆっくりと
大切な人と
食事を楽しむ時間
を作ろう



農作業体験や
魚を捌く体験を通して
食べものの命を考え
食の大切さを感じよう

